

「人間と夢」

ノーマンス アレクサンダー

夢、目標、願い。私達はこのようなものが
沢山あるはずである。ただし、それだけでは
なく、他のもう三つの言葉とともに考えるべ
きだと思う。その言葉とは「興奮、満足、情
熱」である。興奮がなければ、夢もない。満
足もなければ、目標もない。情熱もなければ
願いもなくなる。

昔から人々は未知のものに非常に興味を持
ち、周りの人もそれを感じ取ってきた。新し
い発見とか、新しい好みとか、素晴らしい話
とかいったものは人間に影響を及ぼすし、ま
れに珍しい形で現れることもある。それは人
々は感動することを見つけた時から他のこと
には目もくれず、それにしか興味を持たない
ということである。その結果、「夢」という
ものが出てくると思う。

だが、「夢」とは正確に何なのだろうか。
それは個人的には生きるための理由だと思う。

この頃、技術というものはずいぶん高いレベルに達して、多くの分野にも広がった。それゆえ、多くの人々は技術のおかげで努力もせずに平均的な生活ができる道を選んできた。

「学習を終えて、評判の良い会社に勤めて、結婚して、家庭をつくって、老人になって、最後は地球上にいる人の中の一人に過ぎない者として死ぬ」という生活。そういう人生は問題のない完璧な人生なのではないかと思える。だが、忘れてはいけないのはそういう生き方を可能にしたのは技術ではなく、その開発に取り組んだ人のおかげである。つまり、その人達の夢のおかげである。

アインシュタインとか、ドワイト兄弟とか、テスラとかいう歴史に名前を残した人はそのようなものを持っていた。皆は熱い情熱を持って、他の人に何も言われようと夢に向かって、頑張ったのである。自分で選んだ人生を送っていたはずである。その人達は不安定な暮らしをしていたと聞くが、間違いなく楽し

んで大好きなことをばかりして生きてたと思う。
そういうものこそ最高の人生ではないだろう
か。
私達は情熱が見つかったら、そのことを頑
張ろうとすることが多いと思う。その時点で
人々は目標ができて、その目標を達成しよう
ともすると思う。「大空を飛ぼう」とか「深
海を見よう」とか「月へ行こう」とかいうこ
とは夢が人間に与える例だと思える。そして、
人間の能力を最大限に出すことができるのだ
ろう。
予測可能なものへ連れて行く固定コースで
時の流れに逆らわず、興奮のないモノトーン
の人生を送るのではなくて、むしろ自分の道
を求めながら楽しんだ方に価値があると思う。
その道が簡単ではないのは当然だと思うが、
その道に現れる挑戦こそ人生を面白くするは
ずである。私達は自分の全てを出して、社会
の中で善悪を判断しながら限界を越えて、自
分自身の価値や力を示す。その結果、私達は

自分自身を一層知るようになってくる。

夢というものは様々な形と大きさとで現れる。

ある夢は小さくて叶えるのがやさしく見える一方で、他のある夢は大きすぎて、かなりの覚悟が必要なのである。しかし、どちらの場合もいつまで続けられるかやりがいがあると思うし、素晴らしい場所にたどりつくこともできる。今まで夢いてきた道を振り返って、越えた障害は結局そんなに大きな問題ではなかったことに気付く場所。そこにさえ着けば、一番満足するものが見つかると思うのである。

それなのに、運命は単に私達に協力しない場合もあるのだ。そのような時には人々は諦めるしかなくなっていて、夢は単なる憧れで終わってしまう。残念ながら、そのような場合も少なくないし、必然でもある。

私はどちらの場合も見ることがあるが、諦めない方を選んだ。私自身、夢想家や騙されやすい人のような様々な言葉で呼ばれたことがあるが、今はここまでしてきたあらゆるも

のに価値があると思う。夢があるからこそ日本に導かれたし、私の言葉には自信があるのである。

私達にとって、選んだ道を進み、大好きなことをして、人生を楽しむことは最高の選択肢ではないだろうか。人生に興奮を与え、前よりずっと良くなるものを得ようとすることは私達に充実を与えてくれるものだと思うのである。だから、夢というのは単なるものと言うより、むしろ生きるための理由だと言える。その夢のため、人間というものは存在しているのではないかと思うのである。